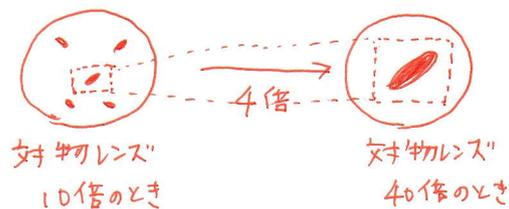


(3) 接眼レンズはそのまま、対物レンズを10倍から40倍にかえると、一度に見える視野の広さは最初の何分の1になるか。

$$\left(\frac{1}{16} \right)$$

対物レンズを10倍から40倍にかえると、観察物の長さは4倍に拡大されるため、面積は $4^2 = 16$ 倍に拡大される。したがって、一度に見える視野の広さは対物レンズが10倍のときの $\frac{1}{16}$ になる。



(4) 光学顕微鏡を用いる際は、まず(接眼)レンズを取りつけ、その後(対物)レンズを取りつける。

次に、(レボルバー)を静かに回して最低倍率にしたあと、しほりを調節し、(接眼)レンズをのぞきながら(反射鏡)を動かして視野全体を明るくする。

プレパラートをステージの上におき、クリップで固定し、顕微鏡を横から見ながら(調節ねじ)を回して、(対物)レンズとプレパラートを近づける。

そして(接眼)レンズをのぞきながら、(対物)レンズとプレパラートをゆっくり遠ざけるように(調節ねじ)を回してピントを合わせる。